

○音楽科の目標及び学年の目標はどう変わったか。

1 音楽科の目標

(\_\_\_\_は、現行との変更箇所)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

○ 改善のポイント

現行の目標に「音楽文化についての理解を深め」が新たに加わった。このことは、中教審答申の「多様な音や音楽を感じ取り、創意工夫して表現したり味わって鑑賞したりする力の育成や、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことを重視し、次のような改善を図る」に対応したものである。

このことは、我が国や郷土の伝統音楽の指導を一層充実させるとともに、音楽を他の芸術や文化、歴史とのかかわりから捉えさせようとする方向性を示したものである。

2 学年の目標

(1) 各項目ごとの具体的な目標

(\_\_\_\_は、現行との変更箇所)

| 第1学年   | 第2学年及び第3学年   |
|--|--|
| (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 | (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 |
| (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、 <u>創意工夫して表現する能力を育てる</u> 。 | (2) <u>多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める</u>                         |
| (3) <u>多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる</u> 。                    | (3) <u>多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める</u> 。                                      |

第2学年及び第3学年は、学校や生徒の実態などに応じた弾力的な指導を効果的に進めることができるように、学年の目標及び内容をまとめて示している。

(2) 改善のポイント

ア (2)の「音楽表現」に「多様な」を加えた。我が国及び諸外国の様々な音楽における表現が多様であることに気付き、表現活動を通じて共通性や固有性などを感じ取ることを重視した。

イ (2)の「創造的に表現する」を「創意工夫して表現する」と改めた。生徒が自己の表現意図を曲想とかかわらせるなどして、試行錯誤をしながら創意工夫して表現する音楽活動の過程に、創造性をはぐくむ重要な学習があることを明確にした。

ウ (3)の「興味・関心をもち」を「よさや美しさを味わい」と改めたのは、よさや美しさを味わうことは、音楽の内容を価値あるものとして自らの感性によって確認する主体的な行為であり、音楽に対して自分なりの意味を見いだすことにつながっていくからである。

エ (3)の「幅広く鑑賞する」を「幅広く主体的に鑑賞する」と改めたのは、鑑賞した音楽について言葉で説明するなどの主体的・能動的な鑑賞活動を一層重視したからである。

